

2010年（平成22年）5月19日（水）付け紙面より

鶴岡の「町人まち」歩こう 短編物語と絵図で紹介 小冊子完成、20日から配布

城下町鶴岡の中で町人文化が栄えた一日市町、七日町、上肴町の旧3町（現在の本町二丁目、三丁目）に着目し、往時の町人まちの暮らしを短編の物語で伝え、その情景を思い浮かべながら散策してもらう小冊子「城下町鶴岡 町人まち ブックレット」が発行された。独特の風情が今も残る旧町を、物語の主人公と一緒に歩き楽しめる内容となっている。鶴岡市都市計画課で20日から先着200人に無料配布する。

市民や学識経験者、建築士らでつくる「つるおか『美しい都市』プロジェクト実行委員会」（会長・佐藤滋早稲田大理工学部教授）が、発行した。地域の歴史や文化を通じたまちづくりを目指し、昨年3月には旧3町の町人まちを舞台に江戸時代の古地図と現在の街並みを重ね合わせた町歩きマップ「古地図で歩く城下町鶴岡 町人まち」を作製した。今回の小冊子は、これに続く第2弾として企画。テーマは「物語で紡ぐまちの記憶」を踏襲した。

史実に基づいた旧3町の物語は、同市本町二丁目出身のフリーライター・荻原和歌さんが担当。明治期に呉服まちとして栄え、今も大店（おおだな）の名残が感じられる一日市町は尋常小学校の男児、江戸期の旅籠（はたご）まちで料亭文化が色濃く残る七日町は若い女性、魚屋などが並んだ上肴町は黒猫をそれぞれ主人公に、往時の風俗を絡めながら短編小説風に仕上げた。

物語で主人公がたどった道を「絵図」として地図上に表し、周辺にある店舗をその店の歴史とともに紹介。旧3町それぞれの江戸期から現在までの移り変わりをまとめて旧町にまつわる歴史を年表にし、歴史的建造物や明治期などの古い写真も載せ、町人まちの歴史と文化を伝えている。

実行委は「城下町にあって町人文化が栄えた街の記憶をたどって町歩きを楽しんでもらえれば。掲載した物語は読み物として楽しめるもので、物語の主人公になった気分で散策し、町人まちに触れてほしい」と話している。

ブックレットは縦26センチ、横12センチの大きさ。41ページ。800部を発行し、旧3町の店舗や市内の観光施設、市東京事務所などに配置した。20日からの無料配布（1人1部）の問い合わせは、市都市計画課＝電0235（25）2111、内線492＝へ。



発行所
荘内日報社
 本社／〒997-0025 鶴岡市馬場町3-29
 電話0235(23)480(代表)
 酒田支社／〒998-0045 酒田市二番町6-2
 電話0234(22)4244(代表)
 ©荘内日報社 2006

●本社代表
 TEL(0235) 22-1480
 ●購読のお申し込み
 TEL(0235) 22-1481
 ●編集局直通
 TEL(0235) 22-1482
 FAX(0235) 22-1427
 ●広告のお申し込み
 TEL(0235) 22-1479
 FAX(0235) 22-2633
 ●印刷のお申し込み
 TEL(0235) 22-1724
 ●酒田支社
 TEL(0234) 22-4244
 FAX(0234) 26-0430

購読のお申込

市町村カテゴリ
[庄内地方全域](#)
[酒田市](#)
[酒田地区](#)
[八幡地区](#)
[松山地区](#)
[平田地区](#)

[鶴岡市](#)
[鶴岡地区](#)
[蔵鳥地区](#)



- [腰岳地区](#)
- [羽黒地区](#)
- [櫛引地区](#)
- [朝日地区](#)
- [温海地区](#)
- [庄内町](#)
- [余目地区](#)
- [立川地区](#)
- [遊佐町](#)
- [三川町](#)

物語で町人まちの歴史と文化を伝える小冊子「城下町鶴岡 町人まち ブックレット」

日付の新しい記事へ **ページを移動する** 日付の古い記事へ

記事の検索

■ 発行月による検索

2010 年 5 月

※年・月を指定し移動ボタンをクリックしてください。

※2005年4月分より検索可能です。

■ キーワードによる検索

※お探しのキーワードを入力し「検索」ボタンをクリックしてください。

※複数のキーワードを指定する場合は半角スペースを空けてください。

[ニュースTOP](#) [最新記事](#) [BACK](#)

[↑ページの先頭へ](#)

株式会社 庄内日報社 本社：〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町8-29 (私書箱専用〒997-8691) TEL 0235-22-1480

当社サイト掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright © 2008-2009 The Shonai Nippo Press Co., Ltd. All Rights Reserved.